

<b>施設名</b>	特別養護老人ホーム三ノ輪	<b>指定管理者の名称</b>	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
------------	--------------	-----------------	-------------------

**1. 指定管理者の概要**

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和 6 1 年 1 0 月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム谷中、老人保健施設千束
③経営状況	(19 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,401,341,470 円,歳出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]歳入 361,979,008 円,歳出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円

**2. 施設の概要**

①所在地	台東区三ノ輪 1-27-11
②設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
③利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
④開館日・開館時間	通年、24 時間
⑤規模	延べ床面積 9,617 ㎡のうち 4,604 ㎡ 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造地上 9 階地下 2 階のうち地上 8 階～地下 2 階部分 駐車場（共用）、売店、リハビリ室、浴室（機械浴、一般）、ボランティア室、居室、静養室など
⑥人員体制	6 1 名（内訳）施設長（1）、医師（嘱託 9）、生活相談員（2）、介護支援専門員（3）、栄養士（1）、機能訓練指導員（嘱託 3）、事務職員（2）、ケアワーカー（常 15、非 9）、看護師（常 3、非 1）、その他（アルバイト 12）

**3. 事業（サービス提供）の概要**

①委託事業	入居者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等
②自主事業	自主事業は行っていない

**4. 施設の稼働状況等**

○年間延べ利用者数（4 月～3 月）				○年度末入所者数（20 年 3 月末）							
	17 年度	18 年度	19 年度		要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
稼働日数	365	365	366	男性	1	1	4	2	2	5	15
延利用者数（特養）	21,554	21,296	21,300	女性	0	1	1	10	16	19	47
延利用者数（ショート）	1,872	2,414	2,641	計	1	2	5	12	18	24	62
合計	23,426	23,710	23,941	○年間平均要介護度 3.98							
稼働率	95.8%	97.0%	97.6%								

**5. 予算決算の推移** (単位：円)

年 度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	負担金補助及び交付金	82,626,000	86,496,000	69,037,000	56,262,000	
	料金収入等	267,343,000	258,115,000	265,995,000	270,905,000	
	管理経費	349,969,000	344,611,000	335,032,000	327,167,000	
決 算	負担金補助及び交付金	85,656,000	84,992,176	71,871,724		
	料金収入等	260,657,388	266,389,652	275,080,755		
	管理経費	321,180,760	319,607,460	329,208,829		
	収 支	25,132,628	31,774,368	17,743,650		

<b>6. 評価項目</b>	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
----------------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.1]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [3]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [-] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.6]	(1)利用者・第三者機関の評価 [3] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [3]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [2]

<b>7. 評価</b>	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	全体的に適切な事業運営がなされている。施設全体としてユニットケア化を推進しており、個々のプライバシーを尊重し、利用者本位に立ったサービス提供に力を入れている。
②施設の維持管理	A	屋上緑化や省エネ対策など積極的に環境配慮に取り組んでいる。また、軽微な修繕について積極的に施設で対応し、建物維持管理に努めている。
③利用者の満足度	A+	利用者満足度調査の結果より、施設職員の接遇やサービス提供に対する利用者及び家族からの評価が非常に高い。利用率についても上昇を続けており、良好なサービス提供が行われている。また、関係団体との関わりを密にし、積極的にサービスの質の向上に励んでいる。
④歳入歳出	A	利用率の上昇により料金収入が増額となっているが、同時に管理経費も前年度に比べ増額となっているため、今後も継続して管理経費の縮減に努めていく。
⑤総合評価	A	良好なサービス提供と施設維持管理がなされている。

**8. 課題への対応等**

開設から14年が経過し建物の老朽化が進む中、適切な建物管理に努めている。また、満足度調査における利用者や家族からの満足度が高く、利用者本位のサービス提供がなされている。

今後もサービスの向上を図りつつ、管理経費の更なる縮減が求められる。